

令和4年度  
いばらき木づかいチャレンジ事業  
活用施設事例集



令和6年3月  
茨城県農林水産部林政課

# 目次

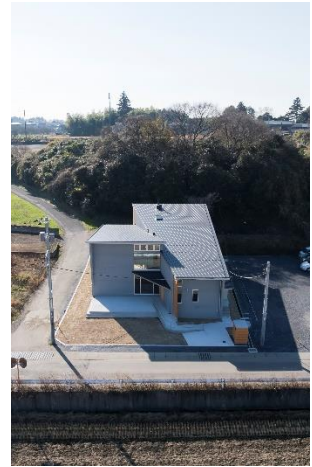
(令和4年度事業分)

1 ユアプレイス（多機能型福祉施設）（つくば市）

2 まつやま保育園（守谷市）

# ユアプレイス（多機能型福祉施設）

## 燃えしろ設計の連続柱が吹抜を支える地域に開かれた事業所



### ■ 建築概要

**所在地** 茨城県つくば市上ノ室1560-1  
**構造・階数** 木造2階建て  
**事業費** 136,300 千円  
**工期** 令和5年3月～令和5年10月  
**施工者** 株式会社大貫工務店

**施設用途** 障害児通所支援事業所、障害福祉サービス事業所  
**延床面積** 368㎡  
**木工事費** 36,160 千円  
**設計者** Live Haus 建築設計所・高橋建築構造設計室  
**木材供給者** (株)角幸 (株)野上製材所 (株)銚田製材所  
(有)皆川製材所 (株)林産 (株)荒川材木店

### ■ 施設の概要・特徴

本施設は筑波山を望む田園風景のエッジに建つ木造準耐火構造の通所型の社会福祉施設であり、放課後等デイサービス、就労継続支援B型と生活介護など、多機能な福祉サービスを、利用時間帯の違いを利用して、ひとつの器に共存させる試みである。障害の有無も含め、様々な人々が共に過ごせる居場所づくりを目指し、北にも南にもそして地域にも開こうという意思を体現すべく両向きのたたずまいとした。

### ■ 使用した木材や工夫した点

調達しやすさを踏まえ、梁成 $\leq 330\text{mm}$ 、材長 $\leq 6\text{m}$ の県産スギ製材による架構計画とした。特に吹抜を支える耐風柱であり、合板耐力壁の下地材(耐震要素)であり、かつ準耐火性能を担保する燃えしろ柱も兼ねる連続柱(=壁柱)の扱い方を工夫した。通し柱材は、120mm角と150mm角のスギ製材、150 $\times$ 750mmの5段重ねのスギBP柱の3種類で、耐震性能や燃え残り断面で負担できる重さなどを勘案しつつ、適材適所で使い分ける計画とした。例えば外周部の吹抜を支えるのはスギ製材の通し柱で、120mm角を連続させた片面燃えしろの壁柱である。他方、両向きのボリュームを区切る中央の斜め壁は、建物を貫いて柱等の木材が外部まで連続するかたちとし、4面燃えしろにも耐えられるようBP柱を中心に構成した。外部に面する部分は製材150mm角を連続させ1面燃えしろの壁柱とし、残りの部分は告示仕様の石膏ボード両面張りの中空壁の上に杉板を張った配線可能な板壁とし壁柱やBP柱との視覚的・素材的なつながりを担保するデザインとした。

樹種	使用量 (うち 県産材)	使用部	備考
スギ	66.96㎡ (64.02㎡)	柱・梁・タルキ・ 間柱・ルーバー等	
ヒノキ	6.29㎡ (5.78㎡)	土台・大引	
その他	26.18㎡ (0.00㎡)	床板、家具、 野地・壁等合板	
計	99.43㎡ (69.80㎡)		



# まつやま保育園

長年愛されてきた木造平屋建ての旧園舎の記憶を残しながら  
新しい未来を想起できる保育園施設



## ■ 建築概要

**所在地** 茨城県守谷市本町4210  
**構造・階数** 木造2階建て  
**事業費** 494,844千円  
**工期** 令和5年2月～令和6年1月  
**施工者** 株式会社 大貫工務店

**施設用途** 保育施設  
**延床面積** 1160.73㎡  
**木工事費** 67,510千円  
**設計者** (株)アルコデザインスタジオ  
**木材供給者** (株)野上製材所 (株)銚田製材所  
(有)皆川製材所 (株)林産 (株)赤井製材所

## ■ 施設の概要・特徴

1994年より地域に根差した保育園を目指して事業を開始。そして、子供たちだけでなく地域住民にも愛される保育園に成長。開園30年の節目に増改築事業で新しく生まれ変わった施設。

保育園児や地域住民の人々が、自然と集まるひらかれた建物となるべく、特に1階の多目的ルームではカフェ&レストスペースを造り、お父さん・お母さんたちの交流、子育てイベントの開催や地域に住む小中学生や高齢者の方たちの憩いのスペースになることを想定した建物。

## ■ 使用した木材や工夫した点

長年愛されてきた木造平屋建ての旧園舎の記憶を残しながら、新しい未来を想起できる建物として増改築した保育園施設。

児童福祉法による準耐火構造の要件をクリアするため、室内の柱に燃えしろ設計を採用し、園児の触れる柱は木のぬくもりを感じられるように、香りの良いヒノキの角柱(丸面取り)を現して採用し、また、エントランスの天井材にも、準不燃加工を施したスギの天井材を張るなど、木のぬくもりの意匠となり天井材の調湿効果の木材を用いることで、心地のよい空間を創出している。

樹種	使用量 (うち県産木材)	使用部
スギ	129.74m <sup>3</sup> (129.74m <sup>3</sup> )	天井材 等
ヒノキ	20.53m <sup>3</sup> (20.53m <sup>3</sup> )	角柱 等
計	150.27m <sup>3</sup> (150.27m <sup>3</sup> )	

